



# 羽ばたけ

平成28年9月28日 <第6号>

## 再掲・大切にしたい躰の三つ

小清水町立小清水小学校長 寺本 聡

□以前に一度、学校便りで記したことがあります。再度、記してみたいと思います。

■「躰」は「しつけ」と読みます。漢字の組み合わせから「身（からだ）を美しくする、美しく飾るといったような意だ」ということは想像できます。国語辞書には、次のように記載されています。

【躰】子供などに礼儀作法を教えて身につけさせること。

また、身についた礼儀作法。

（大辞林）より □日本では、昔から次の三つが大切な躰とされてきました。

そこで、子どもが小さいうちから親や祖父母はもとより、近所のおじさん・おばさんたちまでもが、子どもたちにしっかりと教えてきたのではないかと思うのです。

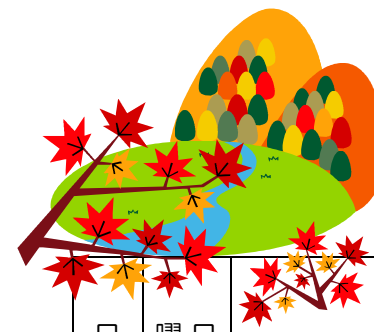
「あいさつ」「返事」「履き物を揃える」

■今も昔も、この三つのことはやはり日常生活や社会生活を送る上で大切な、身につけておくべきことです。学校では、さらに「履き物を揃える」と同様に「席を立つときには椅子を入れる」ということも付け加えています。いずれの場合も、根気よく粘り強く「教える」「指導する」ことなしには身につけていけないものであると思うのです。平成28年度版小清水小学校の子ども「わたしたちの学校生活」にも、6つある通年目標の中に「あいさつ、返事をきちんとしよう」「履き物、いすをそろえよう」が入っています。これらは、「小清水スタンダード」にも盛り込まれるかもしれません。

□「履き物を揃える」については、手前味噌ですが本校の子どもたちは良くできていると思っています。ホームページでもご紹介したことがありますが、パソコン教室で学習する時など、上靴が全員きちっと揃えて並べられています。見ていて感心します。

■一方、「返事をきちんとしよう」については、現在、少し課題になっているところです。例えば、前回の全校朝会などで名前を呼ばれた時に、「ハイッ」と張りのある誰にも聞こえる声での返事は、残念ながらなかなか聞こえてきませんでした。子どもたちも本当は分かっているし、返事をしていないわけではないのですが、まだまだ不十分なのです。多くの人の前で返事をするのは、少し照れくさいのかもしれませんが、もともと、声の小さい子どもも居ます。それらを踏まえた上でなお、しっかり返事のできる子ども・人になってほしいと思うのです。これから社会で生きていく上で、円滑な人間関係を築いたり広げたりするためにも、大切に必要なことだからです。

□なお、「あいさつ」についてはいかがでしょうか。この点、お手本になるのが小清水中学校の生徒達です。いつも、ハキハキした気持ちの良い挨拶をされていて感心します。小中一貫教育を進めていく中で、中学生が小学生のお手本になり、小学生が中学生をお手本にする。そういった広がり期待できます。まずは教師である私たちがより一層率先して「挨拶」「返事」等々を実践して、「伸び代」のたくさんある子ども達にしっかりと指導していきたいと考えています。ぜひ、皆様のご協力も！



## 10月の行事予定



日	曜日	行事予定	下校バス	
			14:45 14:50(金)	16:00 16:05(金)
1	土	児童生徒絵画書写展9:00～18:00 表彰式10:00～愛ホール		
2	日	児童生徒絵画書写展 9:00～15:00		
3	月	委員会活動	○	○
4	火	クラブ⑥	○	○
5	水	フッ化物洗口	○	○
6	木	視力検査(1・3年) 【特別日課】	○	○
7	金	視力検査(2・4年) 6年中学校登校日	○	○
8	土	網走東部PTA連合会研究大会(午後)		
9	日			
10	月	祝日(体育の日)		
11	火	視力検査(5・6年)	○	○
12	水	フッ化物洗口	○	○
13	木	2計測(4～6年)	○	○
14	金	2計測(1～3年)	○	○
15	土			
16	日			
17	月	委員会活動	○	○
18	火		○	○
19	水	フッ化物洗口	○	○
20	木	児童総会	特13:30	
21	金	6年中学校登校日	○	○
22	土			
23	日			
24	月	学芸会特別日課 委員会活動	○	○
25	火		○	○
26	水	フッ化物洗口 サポートタイム	○	○
27	木		○	○
28	金	6年中学校登校日	○	○
29	土	網走東部地区PTA連合会母親研修会(午前) 網走		
30	日			
31	月	全校朝会	○	○

## ◆PTA給食試食会 8月31日

献立【和風そばろ丼、豚汁、枝豆とひじきのサラダ】

参加者の皆さんには、それぞれの教室で子ども達と一緒に給食を食べていただきました。普段の食事の時と違う、我が子の様子も見ていただき、音楽室に集合しました。

給食室に入ることはできないので、ビデオ撮影された映像を見ながら鼻田栄養教諭の説明がありました。給食室の衛生管理、調理過程やセンター内の調理器具等の説明、出汁のとりかた、野菜の切り方等、給食がどのようにして作られているかを知っていただきました。

調理員さんが子ども達のために、見た目の美味しさにまでこだわって手間を掛けていただいていることがよくわかりました。



## 夏休み作品展 受賞者

【最優秀賞、特別賞】

- 1年  
最優秀賞～ぬまざき りとら(1-1)  
優秀賞～はなだ さな(1-2)  
わかりやすいで賞～たかやま あかり(1-1)  
かわいいで賞～はらまき さつき(1-2)  
なつらしいで賞～なかみち ちあき(1-1)  
きれいいで賞～ささき そらと(1-2)
- 2年  
最優秀賞～かわい せな(2-1)  
優秀賞～えとり るな(2-2)  
アンティークで賞～みなみ はると(2-1)  
花やかで賞～ふじかわ ゆきな(2-2)  
よくしらべたで賞～かりこみ じょうせい(2-2)  
カラフルで賞～つかもと しゅうか(2-1)
- 3年  
最優秀賞～遠藤花琳  
優秀賞～木澤蒼翔  
キレイで賞～青島こはな  
ワンピースで賞～細川集夢  
よく調べたで賞～水牧宥那  
よくできているで賞～狩野雅人

- 4年  
最優秀賞～真庭由佳  
優秀賞～古川奏音  
オシャレで賞～井澤里桜  
よく調べたで賞～堀川蒼太

- 5年  
最優秀賞～服部十斗  
優秀賞～我妻衣織  
大きいで賞～矢野拓海  
よく作ったで賞～山田佳奈  
キラキラで賞～田野竣也  
頑張ったで賞～遠藤杏珠

- 6年  
最優秀賞～出町帆乃香  
優秀賞～土井友華  
よく調べたで賞～渡辺笙  
上手にくぎを打ったで賞

- 【審査員特別賞】  
・高橋紗菜恵(6年)  
・松尾心愛(5年)  
・遠藤香花(4年)  
・荒木碧巴(3年)  
・くわさこ ゆい(2-1)  
・わがつま ひろと(1-1)



## 町民マラソン大会に全校参加

9月25日、絶好のマラソン日和の中、町民健康マラソン大会に全校児童が参加しました。大会前の練習では、休み時間や昼休みに取り組んだ1枚50週分のマラソンカードを3枚(合計30km以上)以上もクリアした子がいたようです。大会当日は、自分の記録更新に向け、沿道の皆さんの声を「力」にかえて子ども達はとても頑張っていました。



## 楽しかった修学旅行



人間関係を深め、思い出を作る



見聞や経験を深める

9月1日、

6年生が釧路市に向かって修学旅行に出発しました。修学旅行は物見遊山ではありません。学習の一環ですので、目的をもって2日間を過ごします。

## 修学旅行 3つの目的



集団行動・公衆道徳の実践

小清水ではできない体験、学校や家庭とは違う公の場所での行動の仕方、先生と子ども達だけの生活の中で貴重な経験を積むことができます。

今後の6年生の学校生活にどのような成長が見られるか、様々な場面で修学旅行の成果が確かめられていきます。

## 自分で考えて行動

できたかな?(避難訓練)

9月12日 雨天で延期になっていた避難訓練がありました。今回は、「事前の予告無し」、「休み時間のため先生の指示も無し」の中で行われました。つまり、「サイレン・放送の指示をよく聞き」

「どこを通過して避難しなければいけないのかを考えて」行動することを求められています。

校長先生が確かめたところ、ほとんどの子ども達が「できた」と自己評価していました。

放送機器の不具合も見つかり、安全に対する意識と設備の安全が確かめられた避難訓練でした。



## 写真で見る小清水小の子ども達 <ホームページより>



### ◆5年生初めての中学校校舎体験学習

9月2日(金)くもり、6年生は修学旅行二日目。その6年生に代わって、今日は5年生が中学校校舎に登校しての体験学習を行いました。1校時目は、中学校2年生による校舎案内。事前に準備をしていたようで、いくつかのグループに分かれて、優しく丁寧な案内をしてきていました。さすが、中学生ともなるとちがうものです。感心しました。2校時目は、中学校英語教諭とALTによる英語活動。

いつもと違った環境での授業でしたが、子ども達の声は大きく出ていましたし、臆することなく授業を受けていました。今年度は後数回、このような体験学習を実施する予定です。



中学2年生による校舎案内

### ◆1年生鉄棒を使った運動あそび

平成28年9月9日(火)あめ 体育館に鉄棒を設置して、1年生が「鉄棒を使った運動遊び」をしていました。両足で跳び上がって腕で支持したり、お腹でぶら下がったり、クルッと回ったり。低学年のうちに、逆さまになる感覚や、腕で支える感覚、回る感覚などを養っておくことがとってもとっても大切になります。幼児の時にする「高い高い」も、実は高さ感覚を養う上で理にかなっているところもあるのです。教師は意図的に、子どもからすると遊んでいる感じで、このような感覚や基本になる技能を身に付けていきます。



腕で支えたり、お腹でぶら下がったり